２歳以上の子どもに対して一律にマスクの着用を求めることに対する緊急声明

令和４年２月５日

子どもの事故予防地方議員連盟
会長 佐藤 篤（東京都墨田区議会議員）

新型インフルエンザ等対策有識者会議新型コロナウイルス感染症対策分科会（いわゆる「政府分科会」）の「オミクロン株の特徴を踏まえた感染防止策」について、全国知事会からの要望を受けて、案の段階では「２歳以上の児童は可能な範囲でマスク着用を推奨する」とされていました。

分科会での議論の末に年齢による一律の基準設定などは修正されましたが、本連盟では、子どもの事故予防の観点から、この動きに対して、下記の緊急声明を発出します。

記

１．本議員連盟が令和２年９月１７日に文部科学大臣及び厚生労働大臣に提出した「子どものマスク着用に関してのガイドラインの変更等について（緊急要望）」でも述べた通り、マスク着用については、窒息リスクや、発育への影響、体調の変化に気づきにくいなど、デメリットもあることから、子どものマスクの着用自体について慎重に検討を重ねることを求める。

２．仮に政府から各自治体に対して通知を発出する場合、子どもの発達段階に応じてマスクの着用ができるかどうかは異なるので、年齢による一律の基準設定には反対を表明する。

３．また、同通知では、保育現場で個々の具体的な子どもの特性に応じた柔軟な対応ができるように配慮し、マスク着用が強制に至らないよう十分に注意することを求める。

以上

私たち議員連盟所属議員は、本件について、それぞれの地方議会を通じて、子どもの事故予防の観点から、子どもをめぐる教育・保育の現場の対応を十分注視して行きます。

なお、本声明は、本連盟規約第１４条但書に基づいて対外公表するものです。